

（株）高知丸高が JICA 中小企業支援事業に採択！

フィリピンの河川防災・災害復旧対策工事での活用を目指す

国際協力機構（JICA）は6月20日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において、株式会社高知丸高（高知県高知市、高野広茂代表取締役会長）が提案する「フィリピン国 防災・災害復旧対策工事用自航組立台船の活用についての案件化調査」を採択しました。

フィリピンでは近年、気候変動の影響により洪水や台風による被害が頻発しており、人的・経済的被害が甚大化しています。（株）高知丸高は、拡大するフィリピンでの災害被害を軽減し、防災インフラを強化するために、現地での浚渫・護岸工事などの河川防災・災害復旧対策工事における自航式組立台船の活用の可能性を調査します。

今回提案された自航式組立台船は、通常の泥上車では作業のできない緩い泥上や水面でも移動が可能です。水上ではアンカーを使用した安定施工が可能であることから、河川工事などでの施工性が格段に高まります。また、組立・解体ができるため、必要時に必要な場所に持ち運んで作業ができ、小河川への対応もできることから、優れた即時性と作業性を有しています。

当該案件化調査では、フィリピン各地の河川河口で発生する河口閉塞による流下阻害の問題を解決するため、対象地域数か所での調査を行い、実証事業を行うための適切な地域の選定を行う計画です。



自航式組立台船の水上組立



宮城県女川町での津波がれき撤去作業

*この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として、中小企業等からの提案に基づき実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されています。2017年度第1回公示は、本年3月に行いました。36件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：全国の採択案件 https://www.jica.go.jp/press/2017/20170620_01.html

参考【本件に関する問い合わせ先】

JICA 四国担当：山内 桂 高知市丸ノ内 1-2-20 高知県商工労働部工業振興課内高知県デスク
 TEL 090-6288-9534 e-mail: Yamauchi-Katsura@jica.go.jp